

震災の記憶と教訓を伝え継ぐ

みやぎ東日本大震災津波伝承館

MIYAGI
3.11
TSUNAMI
DISASTER
MEMORIAL
MUSEUM

みやぎ東日本大震災津波伝承館について

2011(平成23)年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災では、多くの尊い生命(いのち)が失われ、ふるさとは甚大な被害に見舞われました。

同じ悲しみと混乱を繰り返さないために、東日本大震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐこと。被災地の再生と復興に向けて、人々と地域が力を合わせて歩み続けること。それが、私たちの責務です。

みやぎ東日本大震災津波伝承館は、その責務を確かめ合い、未来への誓いを新たにするための場として整備されました。

次なる災害への備えを確かなものにできるよう、全国、世界、そして次世代の人々とつながり、発信と交流に努めてまいります。



建物コンセプト

伝承館の建物は屋内直径40mの正円形の建物で、屋根は林立するランダムな細い柱で支えられ、建物周辺に植えられた樹林(マツ)が成長した際に連続した空間となるようデザインされています。

外壁は全方位を見渡せるよう透明なガラス張りとしており、屋内からの視線の先には、日和山、善海田稻荷、石巻市震災遺構門脇小学校、追悼の広場、日本製紙工場の複数の煙突の煙などをとらえることができます。

また、建物が一番高い北側の屋根の高さは6.9mで、この地を襲った津波が停滞したときの高さを体感できるようになっています。



展示整備の概要

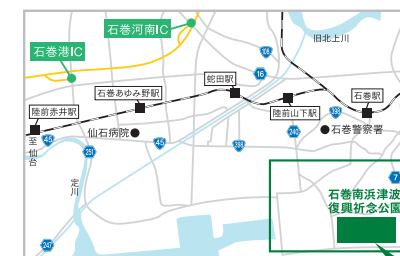
展示の目的は、東日本大震災と同じ悲しみと混乱を繰り返さないために、震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐとともに、県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ(玄関口)の役割を果たすことを目指すものです。

また、「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」というコンセプトのもと、リアルな津波の映像や被災者の証言等により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像をはじめ、県内の震災伝承施設や語り部活動を行う団体等のほか、震災を契機に生まれた地域の復興に関する取組等を紹介するなど、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝えるものです。

(映像出演者:79団体90人)

アクセス

(所在地) 〒986-0835
宮城県石巻市南浜町2丁目1-56



○お車をご利用の場合

仙台から：三陸縦貫自動車道経由で約70分
最寄りインター：「石巻港IC」、「石巻河南IC」各ICから約15分
駐車場(無料)：門脇駐車場
普通車229台、大型車9台、障がい者等優先5台
※大型車は門脇口からのみ進入可

○バスをご利用の場合

石巻駅前バス乗り場より山下門脇線「震災遺構門脇小学校前」下車
所要時間：約12分

○タクシーをご利用の場合

石巻駅前より約10分

○自転車(レンタサイクル)をご利用の場合

石巻駅前より約15分

※所要時間はおおよその目安です。
ご利用の際は、最新の時刻表等をご確認ください。

利用案内

(開館時間) 9:00~17:00(最終入館 16:30)

(休館日) 毎週月曜(祝日の場合は翌日)※GW期間を除く
年末年始(12/29~1/4)
※毎月11日は曜日・祝日にかかわらず閉館

(入館料) 無料

(TEL) 展示見学に関すること・団体予約に関すること 0225-98-8081
公園利用に関すること 0225-98-7401

(FAX) 0225-98-8082

(ホームページ) <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/miyagi-denshokan.html>



ホームページ

facebook

Instagram

X

★ コンセプトパネル

東日本大震災による津波に巻き込まれながらも一命を取り留めた、当時石巻市南浜地区にて被災した方が、当時身につけていた衣類及び当時撮影した写真をパネル化し、展示しています。



① つなぐ記憶

在りし日の情景を映像で映し出し、記憶を誘うシアターです。
失われた街を偲び、被災の大きさを心に刻みます。



② 東日本大震災を知る

観測史上最大級の地震・津波による甚大な被害とその全体像を伝えます。



③ シアター「くり返さないために」

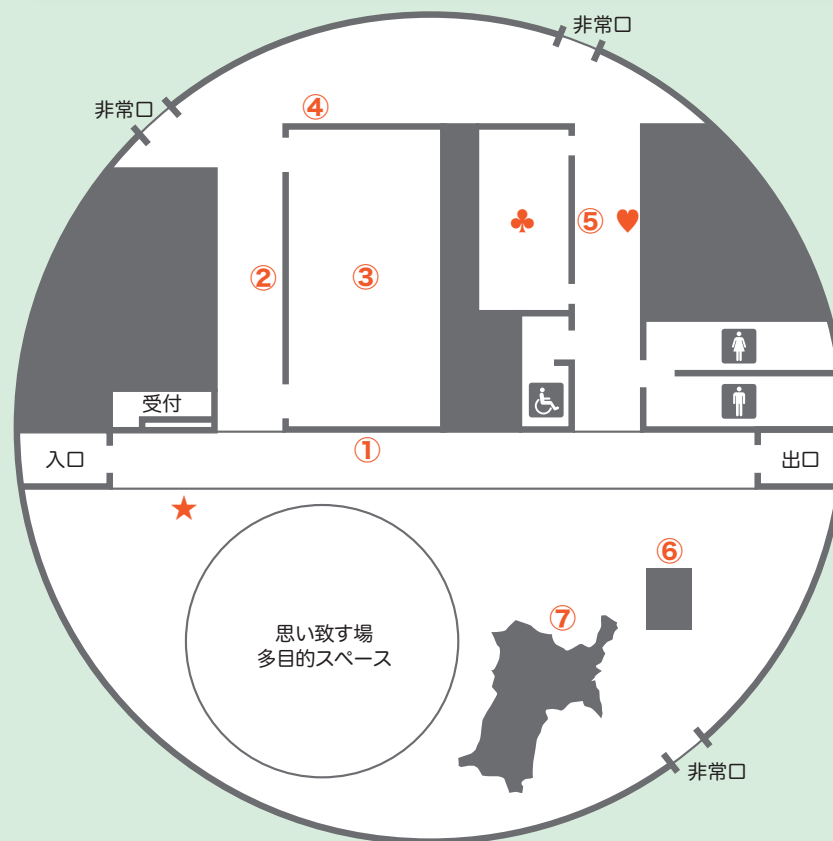
ドキュメンタリータッチの演出により、津波から命を守るには“逃げる”ことが最優先であることを徹底して訴えます。



※映像内には津波等の様子が含まれます。

④ 津波から命を守る

“津波から命を守る”ための意識を高め、将来の危機に備える行動を強く促すために、日和山を望む空間でじっくり向き合い学べます。



⑤ ともにつくる復興

東日本大震災を経て生まれた、まちを元気にし、地域を立ち上がらせる取組や施設、団体を紹介します。



⑥ 「語り部」からのメッセージ

県内各地の語り部団体の活動の様子を紹介し、震災遺構や伝承施設など、現地へ赴ききっかけを提示します。



⑦ 一人ひとりの記憶

被災された方の震災当時から現在に至るまでの証言映像を通じ、様々な角度から震災を考えるきっかけを提示します。



♣ 東日本大震災・緊急対応の記録

発災以降の緊急対応の記録と被災物を通じて津波の脅威を伝え、頻発する自然災害への備えについて考えるきっかけを提示します。

【制作：国土交通省 東北地方整備局】



♥ 3.11 伝承ロード

東日本大震災の実情と教訓を学ぶことができる「震災伝承施設」を紹介します。

【制作：国土交通省 東北地方整備局】



見学時間の目安

60分から90分程度
(パネル展示のみの見学の場合は、30分程度での見学が可能です。)

注意事項

- ・タッチモニターを除き、展示物へは触れないでください。
- ・展示の撮影(写真・動画)について「シアターくり返さないために」のみ、一切の撮影を禁止しております。その他の展示については、写真撮影、動画撮影共に可能です。(業として行うものを除く)なお、撮影された写真・動画のSNS等への掲載も可能です。
- ・館内でのご飲食はご遠慮ください。ただし、一部で水分補給できる箇所があります。

その他

館内には、「解説員(名札着用)」がおります。
展示内容の解説や機器の操作方法など、お気軽にお声がけください。